

# 文化センター圏域 自主防災連絡会とは？

- 設立の経緯
- 今年度の取組
- 今後の活動予定について

# 自助・共助・公助について

## 「自助」「共助」「公助」って聞いたことがありますか？

### 自助

自分や家族の身は自分たちで守る

### 共助

近隣住民や地域の人たちが互いに協力し、助け合う

### 公助

国や都道府県、市区町村などの行政機関や公的機関による対応

**平常時・災害時における役割分担が重要**

# 過去の災害の実情

## 阪神・淡路大震災の場合



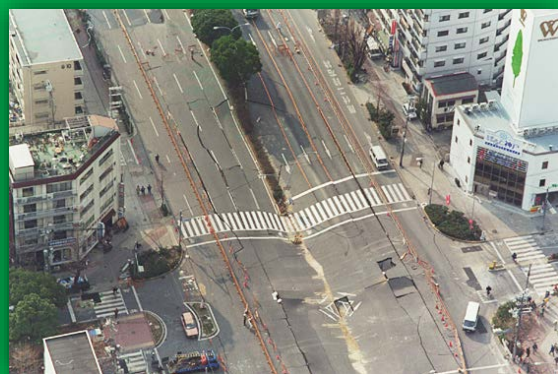
横転したトラック



散乱した庁舎内



一部損壊した庁舎

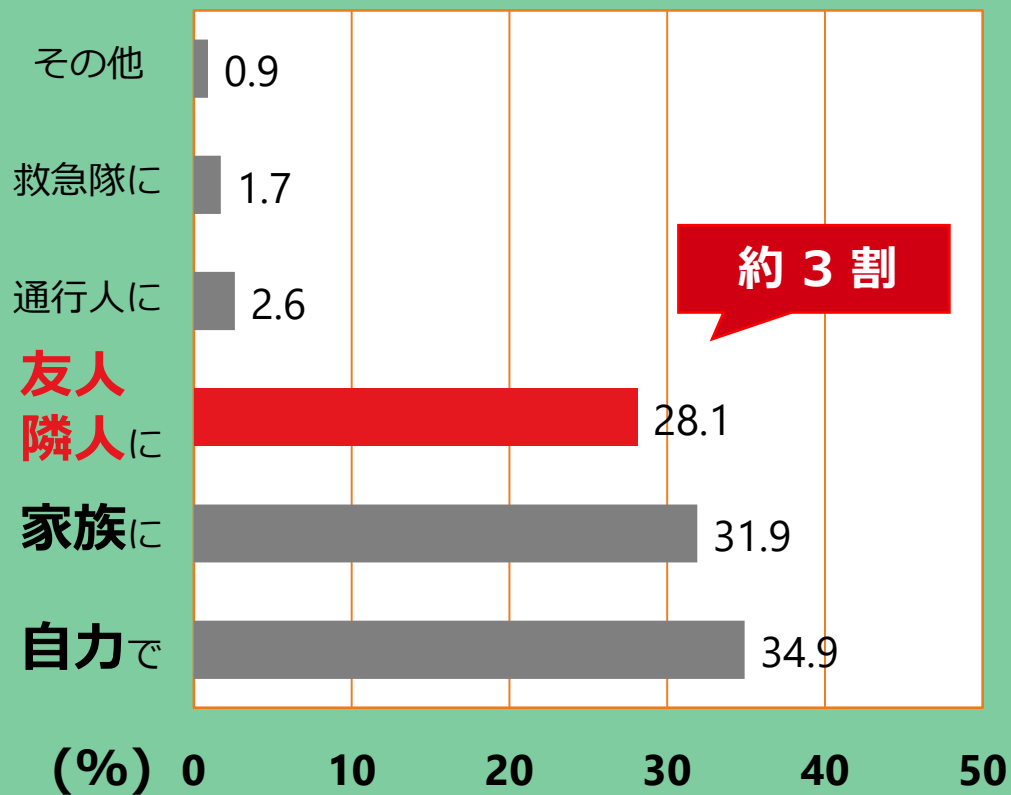


陥没した道路



# 共助の必要性

## 阪神・淡路大震災における 倒壊家屋からの救助活動の主体者



災害時（特に直後）は  
「公助」に期待できない

- 道路の寸断等で地域が孤立、外部からの救援が望めない
- 行政等も自身が被災

公助や外部からの支援に  
期待することは難しい

- 直後は特に共助による災害対策が重要
- 活動の中心は地域であり、自治会、自主防災組織等が中心的な役割を担う

# 自治会等の現状

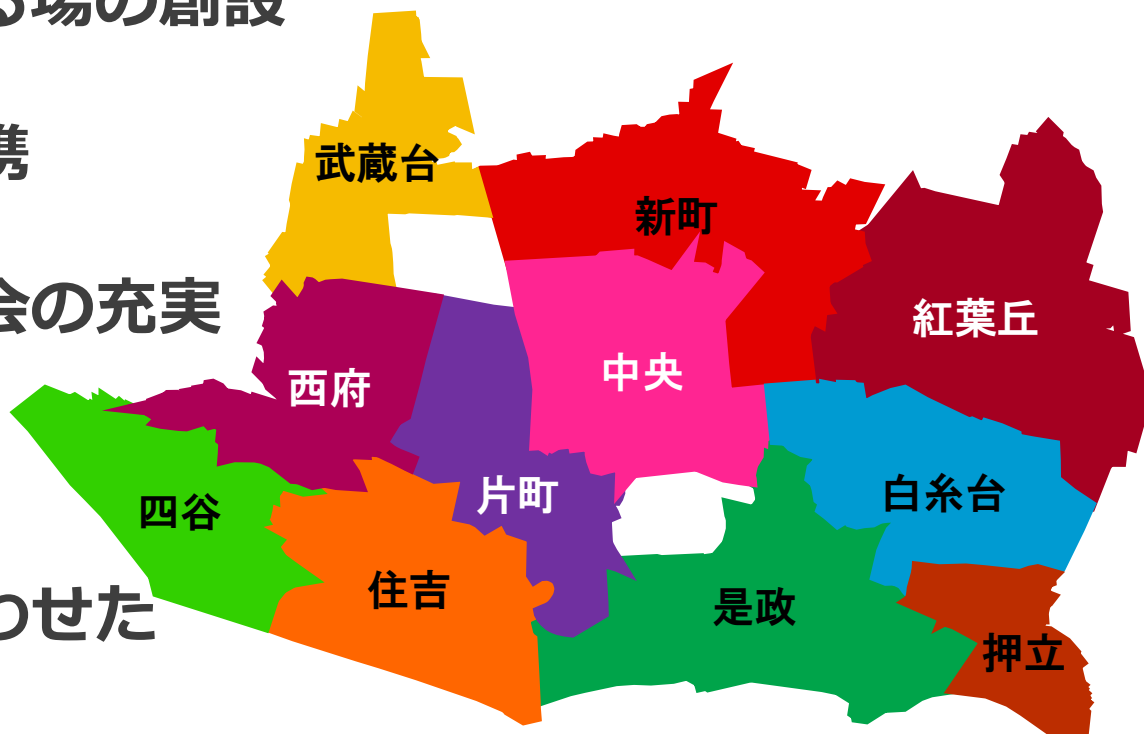
アンケート調査「防災活動が停滞している理由は？」



# 自主防災連絡会の創設

## 市内11文化センター圏域毎に 自主防災連絡会を創設（平成28年6月）

- 防災に関して交流する場の創設
- 他の活動主体との連携
- 地域防災診断や研修会の充実
- 防災リーダーの育成
- まちの地域特性に合わせた  
防災対策の実施



# 今年度の取組

## 座学研修

- 府中市で考えられる災害の種類・被害想定・事前対策
- 自助・共助・公助の役割と限界
- 地域の防災活動の必要性



# 今年度の取組

## グループワーク

地域の特性を把握するため、地域の「良いところ、悪いところ」を書き出し、グループ内で共有





# 今年度の取組

## 防災マップ作成

地域の特徴を「まち」、「ひと」、「防災活動」の視点から「強み・弱み」等を地図上に落としていく



# 中央圏域 強み・弱みマップ

**幸町周辺の強み・弱み**

→ 道路が広い  
→ 公園が多い  
→ 病院が多い  
→ トイレが3か所しかない  
→ 防災備蓄倉庫が1つしかない (幸町1丁目、2丁目それぞれ)  
→ 非常時の備蓄が個人任せ

→ 帰宅困難者、滞留者の発生  
→ 防火耐震構造の住宅  
→ 2017.09~移転し空き物件に  
→ 人手、避難場所  
→ 農業高校の茶畑 避難場所  
→ スペース広い 道が整備されている  
→ エレベーター停止時避難困難 (高齢者が多い)  
→ 学生がいる  
→ 避難場所が多い  
→ 病院が多い  
→ ゴンビニ・スーパーが多い

**晴見町1・2丁目周辺の強み・弱み**

→ 災害時の体制・マニュアルがない (晴中アゼリア台住宅管理組合)

**宮町、宮西町1丁目、寿町1・2丁目、府中町周辺の強み・弱み**

→ 四町 (新宿、本町、番場、八幡) の絆が強い  
→ 青年会がしっかりしている  
→ 防災訓練に参加している  
→ 街路樹に古木が多い  
→ 高層ビルが多い  
→ 地域住民とマンション住民との二極化がある?  
→ 帰宅困難者の発生確率が高い  
→ 高齢者が多い  
→ 若者が少ない  
→ 防災組織が機能していない (高齢者管理)  
→ 防災訓練参加に温度差がある  
→ 備蓄がない



**天神町1・2丁目周辺の強み・弱み**

→ 建物倒壊危険性が少ない (高層建築物が少ないため)  
→ 公園が多い  
→ 建築系従事者が数名いる  
→ 自宅兼で診療している医者がいる  
→ 防災訓練を実施している  
→ 食品購入できるお店が少ない  
→ 高齢者が多い  
→ 防災訓練実施していない 防災備蓄倉庫なし  
→ 訓練参加者が毎回同じ人

**緑町周辺の強み・弱み**

→ 小中学校 (第二小学校、浅間中学校) が近い  
→ 賃貸マンションが多い  
→ マンションのバリアフリー障害がある  
→ 隣の自治会とのつながりが薄い  
→ 防災組織が弱い  
→ 防災訓練の持続性  
→ 個人の備蓄が必要

**八幡町周辺の強み・弱み**

→ 新しいマンションが多く、人のつながりが薄い  
→ 防災マニュアルがない  
→ 防災訓練を実施している (年1回、町会の理事中心)

→ 古い住宅密集地あり  
→ 高齢世帯が多い  
→ 緑が多い  
→ 公園が多い  
→ 防災協定あり  
→ 自治会・老人会・青年会・子供のつながりがある  
→ ほきがクリニック

**凡例**

	公園・広場など
	集会所・公民館
	自治会や町会の備蓄倉庫
	消防署や消防団詰所
	病院・診療所など
	スーパー・薬局・コンビニなど
	路地・狭い道路
	問題・危険箇所
	圏域境界
	強み
	弱み
	指定避難場所
	広域避難場所
	避難所
	避難場所かつ避難所
	1) 一次避難所 2) 二次避難所 福 福祉避難所

※ 地図記載、多摩川洪水、内水は入道では指定される避難所が限られます。府中市ハットマップP.29~P.34で確認ください。

## 災害対応の流れ

発生直後

- 身の安全の確保
- 火の始末、初期消火
- 一時的な避難 **【自助】 身を守る行動**

数時間後  
～1日目

- 近隣での助け合い（初期消火、救助）
- 安否確認
- 初期消火活動
- 救出活動
- 負傷者の手当て・搬送 **【共助】 近隣での助け合い**

～3日目

- 避難誘導活動
- 避難行動要支援者の避難支援 **【共助】 避難誘導**
- 避難所開設・運営
- 在宅での避難生活支援 **【共助】 避難生活支援**

私たちは、本当に「対応」できるのか？

# 災害対応力を自己診断

災害対応上で必要な行動について、現段階における「できる」・「できない」を確認！

対応行動について、各町会ごとに「できる・できない」をチェック！

【災害対応力確認シート】

分類	対応行動	「対応行動」ができるために必要なこと	できる○ できない×
1	身を守る行動	1 身の安全の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 地震から身を守る方法を知っている【自宅にいるときと外にいるときの身を守る方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 机にもぐるなど地震から身を守るための訓練をしている	○
		2 火の始末、初期消火 <input checked="" type="checkbox"/> 火の始末や初期消火の方法を知っている【消火器、濡らしたタオルやシーツを掛ける等】 <input checked="" type="checkbox"/> 消火器を使った初期消火訓練をしている	○
		3 一時的な避難 <input checked="" type="checkbox"/> 一時避難先と、避難先までの安全な経路を知っている <input type="checkbox"/> 一時避難先への避難行動訓練を行っている。	×
2	近隣での助け合い	4 安否確認 <input type="checkbox"/> 安否確認の体制が決まっている <input type="checkbox"/> 安否確認を実施する方法・手順が決まっている <input type="checkbox"/> 安否確認の訓練をしている。	×
		5 被害についての情報収集 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集の体制が決まっている <input type="checkbox"/> 情報収集の方法・手順が決まっている <input type="checkbox"/> 被害などを把握するための情報収集訓練をしている	×
		6 初期消火活動 <input checked="" type="checkbox"/> 初期消火の体制が決まっている <input checked="" type="checkbox"/> 消火設備を備えている【消火器、スタンドパイプ等】 <input checked="" type="checkbox"/> 消火設備の活用やバケツリレーなどによる消火活動の訓練をしている	○
		7 救出・救助活動 <input checked="" type="checkbox"/> 救出・救助用の資機材を備えている【のこぎり、ハンマー】 <input type="checkbox"/> 資機材を使った救出・救助活動の訓練をしている。 <input type="checkbox"/> 負傷者の手当て・搬送の体制が決まっている	×

該当する箇所に✓

総合的に判断してできる 膝○  
できない 膝×

## 課題を明確化！

「できない」行動を整理し、その理由を検討

# 今後の取組

## 平成28年度 地域の防災活動の整理

災害や防災に係る情報を活用し、防災力や災害対応上の強み・弱みを整理したうえで、圏域の防災上の課題を整理

## 平成29年度 防災課題解決のための対策の整理

明らかとなった課題を踏まえて、地域の強みを活かした効果的な対策を検討し、その後の取組を計画したアクションプランの作成

## 平成30年度 対策の実施

アクションプランに基づき、計画した対策を企画・実施する。また取り組んだ対策の効果を検証し、地域の取組等を見直す。

# 文化センター圏域自主防災連絡会 平成28年度成果発表

災害に強いまちをつくるために、私たちにできることは？

